

日本語「たら」文に対応する中国語の表現

——関連語の使用を通じて考察する——

于 吉 慧

要 旨

日本語「たら」文をテンスと確実性から分類し、それぞれに対応する中国語の表現に関して研究を行う。

まず先行研究で「たら」文と中国語の複文（関連語の使用に即して、研究されている）について調査する。次に先行研究を参考にして、「たら」文を分類する。確実性の面からは仮定と確定に分けられ、時間の面からは、未来、現在、過去に分けられる。中国語の複文は主に関連語の使用の状況と確実性とテンスの角度から簡単に仮定複句、因果複句、転折複句、条件複句、譲歩複句、時間複句の分析を行う。

対照の研究では日本語の文学作品の中の「たら」文とその中国語の訳本の中の訳文をデータとして収集し、比較・分析しつつ考察する方法をとった。各種の「たら」文に対応する中国語の複文の表現とその関連語の使用の状況を分析し整理した。

結果として、中国語の仮定複句、転折複句、条件複句、譲歩複句、時間複句がいずれも「たら」文に対応することが分かった。また未来現在可実現の「たら」文と対応する中国語の複句は仮定複句のほか、条件複句、時間複句、因果複句、譲歩複句も対応することも分かった。なお、特に逆接の中国語の転折複句の対応も可能であることが特筆できる。

1 はじめに

国際化の進展と共に国と国との間の交流がますます緊密化しつつある。一衣帯水の日中の文化交流も経済交流もそうである。こういう背景の下で日本語を学習する中国人と中国語を学習する日本人が増加している。日本語と中国語の対照の研究も盛んになされてきた。本研究も対照研究の一環として、日本語の「たら」文を取り上げて、中国語と比較対照して研究を行う。

日本語において、同じ「たら」文でも、その表現することは時間、確実性等の違い

によって異なる。确实性の面からは仮定と確定に分けられる。時間の面からは、未来、現在、過去に分けられる。これを外国語に翻訳することは容易ではない。

日本語「たら」文の表現の一例を挙げよう。

例：ここまで来たら、ご褒美をあげよう。 (未来・仮定)

ここまで来たら、もう1人で帰れます。 (現在・確定)

ここまで来たら、向こうから先生が来ました。 (過去・確定)

以上のような「たら」文の条件表現は「ここまで来たら」の条件部分だけからでは、それが仮定か確定か過去か現在か未来か、いずれであるか分からない。これは、日本語を習う外国人はもとより、日本語の習得者及び教師にとってさえ難しいことがある。もちろん日本語「たら」に対応する中国語の表現も多様である。

次のとおりである。

(1) 来週会社が休みだったら、上海に行くつもりです。

如果下周休息的话、打算去上海。

(2) ショールを買う金を貯めることを考えたら、仲々大変なことなので割引の映画を見に行ってしまった。

虽然想存钱买披肩、但遥不可及、只好去看减价的电影。

例文(1)と例文(2)はいずれも日本語の「たら」文である。しかし、それに対応する中国語の表現は違う。例文(1)は関連語「如果…的话…」を使用している。「如果…的话…」は中国語の典型的な仮定複句の関連語である。例文(2)は関連語「虽然…但…」を使用している。「虽然…但…」は中国語の転折複句の関連語である。例文(1)と(2)は日本語では、同じ「たら」条件文であるが、それに対応する中国語の表現は異なる関連語によってなされる。以上の二つの例を通じて、日本語「たら」文の表現の形式が複雑であることとそれに対応する中国語の複句の表現も多様であることが分かる。

日本語の「たら」は、従属節の実現確率とテンスの二つの基準からいくつかに分類できる。本研究では、その各分類肢の「たら」に対応する中国語の複句の表現を調査・研究し、両言語の対応関係を明らかにしたい。

研究方法としては、日本語の文学作品の中の「たら」文とその中国語の訳本の中の訳文をデータとして収集し、比較・分析しつつ考察する方法をとる。最終的な目的は、「たら」と対応する中国語の表現と関連語の使用の状況を明らかにし、少しでも日本語学習者である中国人、もしくは中国語学習者である日本人が無用な混乱に陥らないようにすることである。

2 「たら」文の先行研究

「たら」文の研究論文の中では、時間或いは确实性を基準にする研究が圧倒的に多い。

本研究ではさらに体系的に扱い、理解しやすくするために、時間と確実性を統合している。『日本語構造伝達文法 [改訂 05 年版]』(今泉：2005)をメインとして、確実性とテンスから「たら」文を分類し、研究する。

2. 1 テンスによる分類

日本語のテンスを表す文の形態は「た」が付く過去形と「た」が付かない非過去形(未来と現在)の二つが対立している。過去形と非過去形の使い分けは単文と複文の中の従属節によって違う。単文においては、その事態が生起するのが発話時より前であるか、後であるかによって決まる。このような発話時が基準時になるテンスは、絶対テンスと呼ばれる。単文のテンスに対して、従属節の中のテンスは前件(従属節)の事態が後件(主節)の事態が起きる(または起きた)時点より以前であるか、同時であるか、以後であるかによって決まる。このような後件の事態が起きる(または起きた)時点が基準時になるテンスは相対テンスと呼ばれる。本稿の「たら」文は文中の従属節の一種であるので、主に相対的なテンスに基づいて、分類することになる。

「たら」文の前件は相対的時間位置を以後、同時、以前において、分けて考え、後件は未来、現在、過去に分けて考える。

以下の例文により、分析する。

(3) 明日、雨が降ったら運動会を中止する。 (以前・未来表現)

明天下雨的话、运动会就中止。

(4) 「あっ」田中さん、今着物を着ていたら、しばらく待ってるね。

(同時・現在表現)

田中正在穿衣服、请稍等一下。

(5) 昨日パチンコ屋へ行ったら、先生に会った。 (以前・過去表現)

昨天去了游戏厅、碰到了老师。

例文(3)の前件「雨が降る」と後件「運動会を中止する」の事態は発話の時点でまだ実際発生していないことで、未来のことである。(3)のような前、後件事態が起こる時点は発話の時点より後で、まだ生起していない「たら」文は未来条件表現とみなされる。

例文(4)の前件「今着物を着ている」と後件「待っている」は発話の時点で同時に生起している。このような発話の時点(現在時点)において同時生起している前件と後件の事態を表す「たら」文は現在条件表現とみなされる。

例文(5)の前件「昨日パチンコ屋へ行ったら」と後件「先生に会う」はいずれも発話の時点において、既に生起した事態である。つまり過去の事態である。(5)のような発話の時点において後件が既に生起した過去の事態の「たら」文は過去条件表現とみなされる。

テンスによる「たら」文の分類を整理すると表1のようになる。

表1 テンスによる「たら」文の分類

時間位置	例 文
以前 未来	明日、雨が降 <u>ったら</u> タクシーで行く。 給料をもら <u>ったら</u> 、パソコンをかうつもりです。
同時 現在	私があな <u>ただ</u> たら、日本へ留学している。 現在、渋滞して <u>いたら</u> 、彼は少し遅れているだろう。
以前 過去	洗濯物を干し <u>たら</u> 、雨が降ってきた。 箱を開け <u>たら</u> 煙が出てきた。

2.2 確実性による「たら」文の分類

前件の確実性という観点から、「たら」文は仮定条件表現と確定条件表現に分類できる。この分類方法も最も普通の分類法である。仮定条件表現とは、前件の未実現の事態を仮定し、条件とするものをいう。前件は未実現の事態であるので、その実現の可能性に実現の可能と不可能の二つがある。(実現の不可能の表現を非実現表現と呼ぶことにする)。

- (6) 私が鳥だたら、青空を飛べる。 非実現 現在
如果我是一只小鸟的话、就能在天上飞。
- (7) 先生に会えたら、よろしくお伝えください。 可実現 未来
你能遇见老师的话、帮我问候一声。
- (8) 彼女が彼と話し合ったら、彼は自殺しなかつただろう。 非実現 過去
如果她和他好好谈一谈的话、他也就不会自杀吧。

例文(6)の前件「私が鳥である」と例文(7)の前件「先生に会える」はいずれも実際生起していないことである。未実現の事態である。両方とも未実現の事態を仮定し、条件とする表現である。ただ、(6)の前件「私が鳥である」は何があっても、永遠に実現できないので、その生起の確率は0%である。(6)の前件に対して(7)の前件「先生に会える」はいつか生起するかもしれないし、生起しないかもしれない。その実現の確率は1~99%である(1~99%の確率を50%と表現することにする)。だから、仮定条件表現はさらに可実現仮定表現と非実現仮定表現に分けられる。(8)は(6)、(7)と同じで、前件の「彼女が彼と話し合っていない」事実を「彼女が彼と話し合った」と仮定している。

確定の条件表現とは、もう生起した前件或いは必ず生起する前件が実現した後で、後件が実現することである。その前件は生起した事態でもいいし、まだ生起していない事態でもいい。もう生起した事態はもとより、まだ実現していない事態はこれから必ず生起するとみなすので、確定の条件表現の前件の生起の確率は100%となる。

- (9) 明日になったら、分かる。 確定 未来
到了明天就知道。
- (10) ここまで来たら、もう怖くない。 確定 現在
走到这儿了、已经不害怕了。
- (11) トンネルを出たら、雪がひどく積っているのを見た。 確定 過去
穿过了隧道、我看到了厚厚的积雪。

例文(9)(10)(11)の前件はいずれも確定表現である。例文(9)の前件「明日になる」はまだ生起していない事態である。例文(10)の「ここまで来る」は現在生起している事態である。例文(9)の前件は生起していないが、何があっても、明日が来ることは必ず発生するので前件の確実性は100%である。例文(10)の前件「ここまで来る」は現在に生起している事態であるが、時間の推移につれて、これから先の時点で、その過程が必ず終了して、生起するかどうか不明であるという状況ではない表現なので例文(10)も確定表現である。(11)の前件「トンネルを出た」は既に発生した。後件「雪が積もっているを見る」も前件「トンネルを出る」の発生後に、生起した事態であり、その確実性は100%である。

確実性による「たら」文の分類をまとめてみると表2になる。

表2 確実性による「たら」文の分類

前件の確実性		例 文
仮定	非実現仮定 (0%)	時間が戻 <u>ったら</u> 、もう一度大学に行きたい。 私があなただ <u>ったら</u> 、日本へ留学している。
	可能実現仮定 (1%～99%)	明日、雨が降 <u>たら</u> タクシーで行く。 渋滞して <u>いたら</u> 、彼は少し遅れるだろう。
確定 (100%)		明日にな <u>たら</u> 、分かる。 先生のお宅に伺 <u>たら</u> 先生はお留守でした。

以上の分析を通じて、日本語の「たら」文のテンスと確実性による分類を示すことができた。次に「たら」文のテンス分類と確実性の分類を体系的に1つの表の中に整理してみる(表3)。

表3 テンスと確実性による「たら」文の分類

時間の位置		例	文
未来	仮定	非実現仮定 (0%)	明日、私は鷹になっ <u>たら</u> 青空を飛ぶ。
		可能実現仮定 (1%~99%)	明日、雨が降っ <u>たら</u> タクシーで行く。
	確定 (100%)	明日になっ <u>たら</u> 、分かる。	
現在	仮定	非実現仮定 (0%)	私があな <u>ただ</u> っ <u>たら</u> 、日本へ留学する。
		可能実現仮定 (1%~99%)	渋滞して <u>いたら</u> 、彼は少し遅れるだろう。
	確定 (100%)	これだけ資料があっ <u>たら</u> 良い論文が書ける。	
過去	仮定	非実現仮定 (0%)	この本を読ん <u>だら</u> 、私の人生は変わっただろう。
		可能実現仮定 (1%~99%)	彼女が彼と話し合っ <u>たら</u> 、彼は自殺していないはずだ。
	確定 (100%)	先生のお宅に伺っ <u>たら</u> 先生はお留守でした。	

3 中国語の複句の先行研究

邢福義の『汉语复句研究』によれば、複句とは二つ或いは二つ以上の単文で構成される文である（复句是包括两个或两个以上分句的句子）。その単文は分文（分句）と呼ばれる。日本語の「たら」文は二つの単文で構成される。

複句の中において、各単句は普通接続語（関連語）で接続される。接続語は一般に接続詞及び接続作用を持っている副詞である。

複句の中における単句が述べていることはお互いに関係があるから、ある単句で一部の要素を欠いても、文意の明確さに影響しないことが多い。関連語は本来前後の単句と共に用いられるが、一つの分句の中だけで用いられることもある。

分句と分句の間の文法の関係に基づいて、中国語の複句は等位複句「聯合複句」と主従複句「偏正複句」の二つに分けられる。複句の中でそれぞれの分句が文法上平等で、お互いに修飾したり説明したりしていない複句が「聯合複句」である。「偏正複句」は一つの複句の中に二つの分句があり、そのうちの一方の分句が他方の分句を修飾、限定している複句である。

偏句と正句の意味関係に基づいて、偏正複句は因果複句、転折複句、条件複句、仮定複句、譲歩複句、取捨複句、目的複句、時間複句、連鎖複句に分類される。本論文では研究の内容に即して、主に仮定複句、因果複句、転折複句、条件複句、譲歩複句、時間複句を扱い、これらに分析、考察を加える。

3.1 假定複句

假定複句とは偏句がある仮定を述べ、正句がそのような状況のもとで出現するであろう結論を述べる複句である。話し言葉に、要是…就…、如果…就…、等があり、書面語には…(的)話、假如…、假若…、倘若…、假使…などが多く用いられ、正句に就…、便…、那(么)…、などが多く用いられる。

(12) 如果明天不下雨、我们就去公园。

明日もし雨が降らなければ、われわれは公園に行きます。

(13) 如果我是你、现在就去学校。

私があなただったら、現在学校に行っている。

(14) 要是你们二人都住在港口小镇上、说不定现在已经成家了。

二人ともその港町にいたら、今頃は一緒になっているかもしれないね。

(15) 你不来、我就给你送去。

君が来なかったら、私が届けてあげましょう。

(16) 有什么困难、我们一定帮你解决。

何か困ったことがあったら、私たちは必ずお力になります。

以上の例文を通じて、假定複句の接続形式の有無(関連語の使用の状況)が理解できる。假定複句の中において、偏句と正句の二つの分句とも関連語を使用することも可能であるし、偏句或いは正句だけを使用することも可能であるし、偏句と正句の二つの分句ともまったく関連語を使用しないことも可能である。

次に例文を通じて偏句と正句の関係とテンス及び確実性の角度から假定複句を分析する。

例文(13)から(16)まではいずれも順接である。テンスと確実性において、例文(16)は正句の事態と偏句の事態がいずれも発話の時点で実際生起していない事態であり、発話の時点より後のことであるので、未来表現である。その偏句「有什么困难」は発生する可能性もあるし、発生しない可能性もあるので、その確実性は0~99%(50%)である。

例文(13)は発話の時点で正句の事態と偏句の事態が同時に発生することを意味しているので、現在表現である。例文(13)の偏句「如果我是你」は永遠に発生できないので、その確実性は0%である。例文(14)は発話の時点で正句の事態と偏句の事態が既に発生した形なので過去表現である。その偏句は実現したかどうかかわからないことを假定しているので、その確実性は0~99%である。

假定複句の偏句と正句の関係は順接関係である。正句の事態の生起の時点は未来表現でもいいし、現在表現でもいい。過去表現でもいい。その確実性は0~99%である。仮定の事態が生起するかもしれない場合はその確率が1~99%である。生起しない場合はその確率が0%である。

3.2 因果複句

因果複句は偏句が原因を表し、正句が結果を表すものである。因果複句はさらに説明因果複句と推断因果複句に分けられる。説明因果複句と推断因果複句ではいずれも偏句と正句の関係は順接関係である。正句の事態の生起の時点は仮定表現と同じであり、未来表現でもいいし、現在表現でもいいし、過去表現でもいい。しかし、偏句の事態は必ず確定表現である。偏句の事態は既に生起したこと或いはこれから必ず生起することである。その確率は100%である。

説明因果複句は今回の研究の日本「たら」文と対応しないので、その例文を省略する。

推断因果複句の偏句は原因、理由を表し、正句はそれに基づく推断を表す。常用の関連語は既然… 就…、既然… 那么… などである。「たら」文とは対応しにくい。

(17) 好吧、既然你都回答上来了、我就把你收下。

よろしい お前が全部答えたからには、俺はお前を弟子にしよう。

(18) 田大爷、你说我是记者、那我就采访你一下吧。

田おじいさん、私を記者だとおっしゃるから、私はおじいさんから取材することにしましょう。

3.3 譲歩複句

偏句である事実を認めて譲歩し、正句で反対の角度から逆の意味を述べるような文を譲歩複句と言う。前句と後句の関係は逆接関係である。常用の関連語としては、偏句で尽管…、即使…、固然…等、正句で也… 都…である。

偏句である事実に対して、事実に対する譲歩つまり偏句で述べている事態は既に実現或いは必ず実現する確定表現であり、仮定に対する譲歩つまり偏句で述べている事態はただ仮定でまだ生起してない仮定表現である。テンスの表現は未来も現在も過去もいずれも可能である。「たら」文と対応しにくい。

(19) 尽管有了昨天的经验、仍然出乎意料。 (過去)

昨日の経験があつたにもかかわらず、やはり予想外だ

(20) 即使这些意见暂时通不过、他也不会放弃。 (未来)

これらの意見はすぐに皆の賛成を得られなくても、かれも放棄しない。

(21) 即使现在天塌下来、我也要去。 (現在 直近未来)

今空が落ちて、私は行く。

3.4 条件複句

条件複句とは偏句が条件を表し、正句が結果を表す複句である。条件複句は特定条件複句と無条件複句に分類される。

3.4.1 特定条件複句

特定条件複句とは正句が結果を表し、偏句がその結果を実現させるのに必要な条件を提出する複句である。偏句と正句の間の接続関係は順接関係である。偏句は未然表

現（仮定表現）である。つまり偏句の事態はまだ発生していないこと或いは実証されていないことである。関連語の使用に関して、正句と偏句は両方とも使用することが普通であるが、一つの分句だけで関連語を使用することも可能である。

常用の関連語に只要…就…、只有…才…、…就…、…才…などがある。只有…、只要…は必要な一定の条件を示し、その条件があれば、正句が述べる結果を生み出せることを示す。

(22) 只要你肯力、就一定能学习好。

君が努力しようとしさえすれば（／したら）、必ずものにすることができる。

(23) 只有掌握了汉语、才能很好的研究国文学。

中国語をしっかりと勉強してこそ（／したら）、中国の文学をうまく研究できる。

(24) 到了、就知道。

到着すれば（／したら）、分かります。

3.4.2 無条件複句

無条件複句は本稿の「たら」文と対応しないので、ここでは簡単に紹介する。

無条件複句とはどのような条件のもとでも、正句の述べる結果が生み出されることを表す複句である。常用の関連語に不管（不论 无论）…却（也 总 还）…などがある。

(25) 不管有多大困难、我也要干。

どんなに大きな困難があっても、わたしはやはり続ける。

(26) 我无论怎么问、他总是不回答。

わたしがいくら聞いても、かれはぜんぜん答えない。

3.5 転折複句

転折複句とは偏句が事実を叙述し、正句にこの事実に対して一般的に得られるような結論は述べられず、むしろそれと反対の事実または部分的に反対の事実を述べる複句である。前句と後句の関係は逆接関係である。偏句に「虽然…」、「虽说…」、「尽管…」を、正句に「但是…」、「可是…」、「不过…」を用いる。転折複句の偏句の事態も確定表現である。偏句と正句のテンス表現は未来、現在、過去のいずれも可能である。

(27) 虽然明天下雨、但是我还是要去。

あした雨がふりますが、私は行きます。

(28) 人家虽说是邮递员、可是什么事都替咱们办。

彼は郵便局員ですが、何でも手伝ってくれます。

(29) 那个孩子虽然失去了父母、但是有更多的人关心着他。

その子供は両親が亡くなったが、面倒を見てやる人がたくさんいる。

3.6 時間複句

時間複句とは偏句が時間を表し、正句でその時間内に発生した事柄、または出現した状況を表す複句である。時間複句は普通関連語を用いないが、分句に関連作用を持つ副詞の就…、才…、还…、都…、已经…などを用いる。

(30) 过了六点半、就开饭。

六時半をすぎたら飯をたべることになっている。

(31) 太阳出来一人高了、伙计们睡得正香。

太陽が人の背丈ほどの高さにまで昇ったが、仲間たちはぐっすり眠っている。

(32) 从病人家里回来、已经是深夜了。

病人の家から帰って来たら、すでに深夜になっていた。

時間複句の偏句は確定表現である。テンスは未来も現在も過去もいずれも可能である。

以上の分析を通じて、各複句の関連語の使用状況と偏句の確実性と偏、正句の時間位置が大体明らかになった。

表4 中国語複句の表現

前、後句の時間 前句の確定性	未来表現	現在表現	過去表現	前、後 句接続関係
假定表現	假定複句	假定複句	假定複句	順接
確定表現	因果複句 時間複句 条件複句	因果複句 時間複句 条件複句	因果複句 時間複句	順接
確定表現	時間複句 譲歩複句 転折複句	時間複句 譲歩複句 転折複句	時間複句 譲歩複句 転折複句	逆接

4 日本語「たら」文と中国語の複句の対照研究

本論文は日本語と中国語の対照研究の具体的な研究方法として、検討内容の客観性を求めるために中国語の文学作品とその日本語の訳本及び日本語文学作品とその中国語の訳本における例文をデータとして集めることを考えた。

本論文の資料として、松本清張の『点と線』、川端康成の『雪国』、林芙美子の『放浪記』を使用し、中国語はそれぞれその訳本である林清华の『点と線』、高慧勤の『雪国』、陈宝莲の『放浪記』を使用し、両者の対照によって、日本語の「たら」と対応する中国語の表現及び関連語の使用を解明する。

まず松本清張の『点と線』、川端康成の『雪国』、林芙美子の『放浪記』の中の「たら」文と対応する中国語の訳文を通じて、「たら」と対応する中国語の関連語の使用の有無を整理する。

『点と線』の33例文の中に関連語（接続性を持っている副詞）の接続形式のない例文が4（12%）例ある。前件だけに関連語の接続形式のあるものは9例（27%）ある。後件だけに関連語の接続形式のあるものは5例（15%）ある。前件にも後件にも関連

語の接続形式のあるのは 15 例（45%）ある。

『雪国』の 29 例文の中に関連語の接続形式のない例文が 6 例（20%）ある。前件だけに関連語の接続形式のあるのが 11 例（37%）ある。後件だけに関連語の接続形式のあるのが 5 例（17%）ある。前件にも後件にも関連語の接続形式のあるのが 7 例（24%）ある。

『放浪記』の 89 例文の中に関連語の接続形式のない例文が 24 例（25%）ある。前件だけに関連語の接続形式のあるのが 16 例（17%）ある。後件だけに関連語の接続形式のあるのが 24 例（25%）ある。前件にも後件にも関連語の接続形式のあるのが 25 例（26%）ある。

以上の調査を通じて、日本語の「たら」と対応する中国語の訳文において、関連語の使用が圧倒的に多く、関連語の不使用の例文が極めて少数であることが分かった。

関連語の前件と後件の使用に関して、作者によって多少異なっている。

なお、関連語として用いられるのは、主に仮定複句の関連語である。例えば、如果…就…、假使…那么…、倘若…等である。次に時間複句の関連語が続く。例えば、（等）就、（之后）才等である。そしてこれに条件関連語の使用が続く。例えば、只要…就…等である。そのほかに因果複句、転折複句の関連語も使用される。例えば、既然…那（就）…、虽然…但是…等である。

次にテンスと確実性に基づいて、『点と線』、『雪国』、『放浪記』の中の「たら」文に対応する中国語の関連語の使用の状況をまとめてみる。

『点と線』、『雪国』、『放浪記』の「たら」文と対応するすべての中国語の訳文の関連語の使用の状況に関してみれば、例文の総数は 136 例である。その中に未来非実現仮定（0%）仮定複句の中国語の訳文は 4 例で、総数の 2.4% を占める。未来可实现仮定（1～99%）の中国語の訳文は 55 例で、総数の 40.4% を占める。未来確定（100%）の中国語の訳文は 16 例で、総数の 11.8% を占める。現在非実現仮定（0%）の中国語の訳文は 16 例で、総数の 11.8% を占める。現在可实现仮定（1～99%）の中国語の訳文は 15 例で、総数の 11% を占める。現在確定の表現（100%）の中国語の訳文は 5 例（3.7%）である。過去非実現仮定（0%）の中国語の訳文は 6 例（4.4%）である。過去可实现仮定（1～99%）の中国語の訳文は 2 例（1.5%）である。過去確定（100%）の中国語の訳文は 15 例（11%）である。「たら」文と対応する中国語の複句の表現はそれぞれ仮定複句 条件複句 時間複句 因果複句 転折複句等である。その中で仮定複句の使用が圧倒的に多い。

表5 「たら」文に対応する中国語複句の関連語の使用の状況

テンス \ 確実性	0%	50%	100%
未来	4例 (2.4%)	55例 (40.4%)	16例 (11.8%)
現在	16例 (11.8%)	15例 (11%)	5例 (3.7%)
過去	6例 (4.4%)	2例 (1.5%)	15例 (11%)

次にテンスと確実性の角度から日本語の「たら」文と対応する中国語の表現をそれぞれ分析する。

4.1 仮定複句と対応する日本語「たら」文の表現

先行研究と以上の例文の分析を通じて、確実性上においては、中国の仮定複句は基本的に日本語の仮定の「たら」文としか対応できず、テンス上においては、基本的に日本語の未来、現在、過去という3種類の「たら」文と対応できることが分かった。なお、中国語の仮定複句の定義によって、仮定複句の偏句は仮定で実際生起してない事態であるので、その生起の確率は0%~99%であるが、日本語の「確定」の「たら」文の前件の事態は既に生起したことであるので、その生起の確率は100%である。つまり確実性上において、中国語の仮定複句は基本的に日本語の「確定」の「たら」文（実現性100%の「たら」文）とは対応しない。

- (33) 自分で買えるようになったら、駄目。 未仮可 『雪国』
等以后你自己买得起本子便不行了。
- (34) 君が家を持ったら、亭主は叱られ通しだね。 未仮可 『雪国』
你要是成了家、你丈夫准得成天挨骂。
- (35) あとで聞いたら関係があると云うかも知れないね。 未仮可 『放浪記』
事后问起、或许会说我们有关系。
- (36) 私がもしも男だったらあのまま一直にあの夜の女に溺れてしまって。 現仮非 『放浪記』
如果我是男人、或许就这样沉溺在女人身上一夜。
- (37) 二人ともその港町にいたら今頃は一緒になっていたかもしれないね。 過仮非 『雪国』
要是你们二人都住在港口小镇上、说不定现在已经成家了。

以上の例文はいずれも仮定の表現である。日本語「たら」文に対応する中国語の複句表現の中において、仮定複句が一番多いことが分かった。

4.2 条件複句と対応する日本語「たら」文の表現

中国語の条件複句の前件は確定の表現なので、確実性において、日本語「たら」文の中の確定の表現にしか対応できないので、テンスの表現において、中国語の条件複句は未来にも現在にも過去にも対応できるが、今回の例文の中には過去の確定表現の日本語「たら」文と対応する訳文がなかった。いったい中国語の条件複句は過去の確定表現の日本語「たら」文に対応できるのかどうかについての検討は今後の課題にな

る。今回の例文の中には未来と現在の確定の表現の日本語「たら」文はあったが、非常に少ない。わずか5例である。

(38) 筋のいい縮が出たら、いつでも見せてほしい。 未来 確定『雪国』
但凡有什么货色好的、便留给他看看。

(39) 一ヶ月三十円もくれる人がいたら、私は満々としたいい生活ができるだろうと思う。 現在 確定『放浪記』
只要有人一个月给我三十元钱、我就能过着心满意足的生活。

4.3 譲歩複句と対応する日本語「たら」文の表現

譲歩複句はテンスと確定性の上の表現において、中国語の仮定複句と同じで、仮定表現の「たら」文も確定表現の「たら」文も対応できるほかに、テンス表現の上では譲歩複句は未来も現在も過去もいずれも対応できるが、今回の例文の中には未来の確定と現在の確定しかない。しかも関連語も使用されていない。

(40) 忘れたらもう教えてくれる人もなし印譜は頼りですわ。 現在 確定『雪国』
忘了也没人指点、只好靠曲谱了。

(41) 公判になったら、どうなるか分からない事件です。 未来 確定『点と線』
是一宗上了法庭不知怎么判的案子。

例文(40)は正句で関連語「也」を使っている。例文(41)は関連語を使用していないが、譲歩複句の常用の関連語「即使、也」を入れても成立する。

4.4 因果複句と対応する日本語「たら」文の表現

中国語の因果複句は説明因果複句と推断因果複句に分けられる。いずれもその偏句の述べる原因、理由などの事態は確定の事態である。つまり既に生起した或いは必ず生起する事態なのである。だから基本的に日本語「たら」文の仮定表現に対応できない。中国語の因果複句のテンスの表現は未来、現在、過去いずれも対応できる。日本語「たら」文に対応する因果複句の訳文は極めて少ない。例文の中にわずか一例しかない。

(42) 作為があるとしたら、重大ですな。 現在 確定『放浪記』
既然有人为编造的痕迹、那关系重大啊。

4.5 転折複句と対応する日本語「たら」文の表現

日本語「たら」文と言えば、それに対応する中国語の複句はほとんど順接関係の複句であることが知られている。しかし、今回の研究を通じて、順接関係の複句のほかに、逆接関係の複句も日本語「たら」文と対応することが分かった。前の譲歩複句のほかに中国語の転折複句も日本語「たら」文と対応する。

(43) ショールを買う金を貯めることを考えたら、仲々大変なことなので割引の映画骨を見に行ってしまった。 過去 確定『放浪記』
虽然想存钱买披肩、但遥不可及、只好去看减价的电影。

4.6 時間複句と対応する日本語「たら」文の表現

日本語「たら」文と対応する中国語の複句の中では仮定複句のほかに、時間複句の

例文が一番多い。時間複句は関連語をあまり使用しないが、偏句で…時、…以后、…后、…了、等到…了、等…以后等がよく使われる。正句で関連作用を持つ副詞の就…、才…、还…、都…、已经…などがよく使われる。時間複句と対応する日本語「たら」文は確定の表現である。次は50%の仮定の表現がこれに続く。

- (44) 六時半をすぎたら飯をたべることになっている。 繰り返し 確定 『点と線』
过了六点半、就开饭。
- (45) 朝起きたらもう下駄が洗ってあった。 過去 確定 『放浪記』
醒来时、木屐已经好了
- (46) 駒子に会ったら、頭から徒労だと叩きつけてやろう。 未来 仮可 『雪国』
等见到驹子非兜头给她一句不可。

5 結論と今後の課題

以上において、先行研究と対照研究を通じて、日本語「たら」と対応する中国語の関連語の使用状況とその表現が大体分かった。

① 日本語「たら」と対応する中国語の訳文の関連語の使用状況

対照研究のところですでに分析したが、日本語「たら」文と対応する中国語の訳文の中で関連語がかなりの高率で使用されている。全体の例文の70～80%を占める。つまり、関連語の不使用の例文が少数であることが分かった

関連語の中では中国語の仮定複句の関連語が圧倒的に多い。如果…就…、…的话…就、要是…那（就）…等の仮定複句の関連語がよく使用される。また順接の関連語のほかに、逆接の関連語も使用されている。例えば虽然…但是…、即使…也…等である。逆接の関連語の使用に関して、中国語を学習する日本人、日本語を学習する中国人に注意を促す必要がある。

② テンスと確実性による分類の日本語「たら」文に対応する中国語の訳文の表現

日本語「たら」文と対応する中国語の表現を分析した。すべての例文の中で中国語の仮定複句と対応する「たら」文が一番多い。その関連語として如果…就…、要是（的话）…那么…などが使われる。次に多いのは時間複句である。その関連語として…了、（等）…以后…就…などが使われる。順接の中国語の複句中で仮定複句と時間複句のほかに条件複句と因果複句も日本語「たら」文と対応する。その関連語として、只要…就…、既然…就…などが使われる。なお、順接の中国語の複句のほかに、逆接の中国語の複句も日本語「たら」文と対応することが分かった。例えば転折複句や譲歩複句である。その関連語として、虽然…但是…、即使…也…等が使われることが分かった。日本語「たら」文と対応する中国語の逆接複句の表現に注意する必要がある。

テンスと確実性による分類の日本語「たら」文に対応する中国語の訳文の表現と関連語の使用の状況に関して、表6にまとめる。

表6から、テンスと確実性によって分類された日本語「たら」文に対応する中国語

訳文の表現が大体分かる。中国語の仮定複句はすべて日本語「たら」文に対応する。また未来現在可実現の日本語「たら」文と対応する中国語の複句の表現の範囲は最も広い。仮定複句のほか、条件複句、時間複句、因果複句、譲歩複句も対応することが分かった。しかし、本論文の中において、まだ明らかになっていないこともたくさんある。例えば、中国語の条件複句、時間複句、因果複句、譲歩複句が対応する日本語「たら」文はほとんど現在確定と過去確定の表現であるが、それ以外の日本語「たら」文と対応するかどうかは今後の課題になる。

表6 日本語「たら」文に対応する中国語の訳文の表現と関連語の使用の状況

日本語「たら」文の表現		例文数	前後件の関連語の有無		「たら」に対応する中国語の複句
未来	仮定	非実現仮定 (0%)	4	[N・N] 1 [N・A] 0 [A・N] 1 [A・A] 2	假定複句
		可実現仮定 (1%～99%)	55	[N・N] 3 [N・A] 5 [A・N] 16 [A・A] 31	假定複句、時間複句
	確定 (100%)	16	[N・N] 0 [N・A] 0 [A・N] 7 [A・A] 9	假定複句、時間複句、譲歩複句	
現在	仮定	非実現仮定 (0%)	16	[N・N] 0 [N・A] 5 [A・N] 3 [A・A] 8	假定複句
		可能実現仮定 (1%～99%)	15	[N・N] 2 [N・A] 4 [A・N] 2 [A・A] 7	假定複句、時間複句、
	確定 (100%)	5	[N・N] 3 [N・A] 1 [A・N] 0 [A・A] 1	假定複句、条件複句、時間複句 因果複句、譲歩複句	
過去	仮定	非実現仮定 (0%)	6	[N・N] 0 [N・A] 2 [A・N] 2 [A・A] 2	假定複句、条複復句、
		可能実現仮定 (1%～99%)	2	[N・N] 0 [N・A] 0 [A・N] 0 [A・A] 2	假定複句、転折複句、時間複句
	確定 (100%)	15	[N・N] 3 [N・A] 1 [A・N] 6 [A・A] 5	時間複句、转折複句、時間複句	

(Aは前件または後件で関連語を使用することを示し、Nは前件または後件で関連語を使用しないことを示す。)

参考文献

- 今泉喜一 (2005) 『日本語構造伝達文法「改訂05年版」』 揺籃社
香坂順一 (1962) 『現代中国語文法』 光生館
中島悦子 (2007) 『条件表現の研究』 おうふう出版
長谷川賢 (2009) 『中国語学』 256号
前田直子 (2009) 『日本語の複文』 くろしお出版
益岡隆志 (2000) 『新日本語文法選書2 複文』 くろしお出版
益岡隆志等 (2002) 『複文と談話』 岩波書店
水野義道 (1985) 「接続表現の日中対照」『日本語教育』 56号
森田良行 (1990) 『日本語学と日本語教育』 凡人社
刘月华等 (2000) 『現代中国語文法総覧』 くろしお出版
吕淑湘 (1990) 『吕淑湘文集』 商務印書館

例文出典

- 松本清張 (1958) 『点と線』 新潮文庫版
川端康成 (1948) 『雪国』 新潮文庫版
林芙美子 (1930) 『放浪記』 新潮文庫版
《点与线》(松本清張『点と線』訳) (2010) 林青华 南海出版公司
《雪国》(川端康成『雪国』訳) (2008) 高慧勤 人民文学出版社
《放浪記：流浪女之歌》(林芙美子『放浪記』訳) (1998) 陳寶蓮 實學社出版公司